

第3回松林防除実践講座の実施要領

- 月 日** 平成 19 年 11 月 29 日(木)、30 日(金)の 2 日間
- 集 合** 宮城県市町村職員共済組合保養所 パレス松洲
 11/29(木) 12:00 から受付を行います。部屋割りは参加者名簿と合わせ当日お渡しします。
 11/30(金) 各自チェックアウト後、8:30 バスでホテルを出発、県有防災林潮騒の森(東松島市)、松島町中央公民館へ
- 参加費** 別紙の郵便振替用紙または銀行振込にて18,000円(恐縮ですが振込手数料のご負担をお願いします)を **11月22日(木)まで**にお振り込み下さい。
- 宿泊費等** 宿泊費及び交流会費は**受付時**に申し受けます。
- 準備する物** 筆記用具、作業着、軍手、タオル、雨具などを用意してください。
 ヘルメット、作業用具は当方で準備します。

造園CPD認定プログラム

この講座は造園CPD認定プログラムです。造園CPD会員の方は会場にて登録手続きを行っていただきます。登録手続きには造園CPD会員番号が必要です。

講座スケジュール

	時間帯	内 容
11/29 (木)	13:00～13:15	開会の辞(日本緑化センター企画広報室長) 来賓挨拶(宮城県森林整備課長 河野 裕)
	13:15～13:45	報告「松島における松枯れ対策への取り組みについて」 (松島町産業観光課主査 千葉 一穂)
	13:45～14:45	報告「宮城県における松枯れの現状と対策について」 ボーベリア菌培養不織布を用いた松くい虫駆除試験、樹幹注入による薬剤通過部位に生じる通水障害に関する調査結果を紹介。 (宮城県林業試験場上席主任研究員 水戸辺 栄三郎)
	14:45～15:45	報告「マツノザイセンチュウ抵抗性品種の現状と課題」 (森林総合研究所林木育種センター育種第一課長 藤澤 義武)
	15:45～17:00	特別講演「薬剤散布の環境中の動態と生態影響について」 (千葉大学園芸学部教授 本山 直樹)
	18:00～	交流会
11/30 (金)	8:30～16:00	実習場所(ホテルからバスで移動):県有防災林潮騒の森(東松島市)、松島町中央公民館 ①当年松枯れ被害木の外観調査の要領 ②上記①の被害木から複数箇所材片を採取、伐倒、長さ 1m 程度に玉切り、グループ毎に後食痕・産卵痕、マダラカミキリ幼虫の観察 ③「潜在感染木」の有無確認のための当年枯死木半径 15m 以内における小田式松脂滲出調査、木部と内樹皮の褐変による枯死木判定(宮城県林業試験場 中澤主任研究員) (昼食) ④伐倒くん蒸処理のデモンストレーション(地元森林組合作業班)と参加者による実習 ⑤健全木による樹幹注入(2社の製品)のデモンストレーションと参加者による実習 ⑥土壌灌注のデモンストレーションと参加者による実習 ⑦質疑応答(コーディネーター森林総研など) ⑧採取材片からマツノザイセンチュウ検出と顕微鏡による確認 ⑨講座修了証の交付 閉会の辞(当センター企画広報室長)、解散
	16:00～	松島町中央公民館出発(バスで移動)、JR 仙台駅解散